

【六甲高山植物園】2年連続！ 巨大なヒマラヤウバユリ まもなく開花！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社100%出資)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、3mにもなる巨大な「ヒマラヤウバユリ」があと1週間ほどで開花する見込みとなりました。

当園のヒマラヤウバユリは、昨年、当園初開花に成功し話題となりました。開花した株は種子を残し枯れてしまいましたが、今年はまだ別の株が成長し、花を咲かせています。六甲高山植物園での本種の開花は昨年に引き続き2回目となります。



◆ヒマラヤウバユリ(ユリ科)

ヒマラヤから中国の標高2500～3500mに自生し、草丈が3m以上にも達する巨大な多年草です。白色で香りのよい花を8～15個、やや下向きに咲かせます。開花した株は翌年には枯れますが、小球ができることもあり種子からも殖えます。当園の植栽アドバイザー森和男氏によると「種子から開花まで8年かかり成長が遅いので、日本で栽培しているところはあまりなく、珍しい。」とのことで、当園のヒマラヤウバユリの花は6月下旬まで見られる見込みです。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生以上)700円 / 小人(4歳～小学生)350円

【開園期間】～11月23日(火・祝)【休園日】6月中は無休。7月1日、8日、15日の各木曜日。

【開園時間】10:00～17:00(16:30受付終了)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。